

総務教育常任委員会資料

(令和7年10月6日)

ページ

- 都市部大学と連携した関係人口創出に向けた取組について

【政策統轄課】・・・2

- とっとり県民の日(9月12日)における各種取組の実施について

【協働参画課】・・・3

政策統轄総局

都市部大学と連携した関係人口創出に向けた取組について

令和7年10月6日
政 策 統 轄 課

県では、関係人口創出と地域課題の解決を図るため、都市部大学や市町村と連携し、下記のとおり様々な取組を実施しました。

来県した都市部大学の学生や関係者には、本県の関係人口として「ふるさと来 LOVE とっとりメンバーズ」制度への登録を呼びかけており、今後、地域の担い手などさらに深化した関係人口創出に繋げていきます。

記

1 慶應義塾大学（米子市）

県内外の高校生と慶應義塾大学の学生が令和7年8月3日から5日の3日間、米子市役所や鳥取大学の協力の下、米子市内のフィールドに出向き、住民目線でフレイルや防災等の現状把握を行うとともに、課題解決のためのシステムやデバイスの開発に取り組んだ。最終日には、関係者に向けた成果発表を行った。（県内外の高校生21名、慶應義塾大学学生（指導役）8名が参加）

<活動内容>

- ・若者が「将来の自分」を体験できるよう、高齢者の発話（テンポ、語彙など）や表情（口角や瞼など）の特徴を持つ擬似フレイル体験システムを試作した。
- ・主に浸水被害を想定して、XR技術を活用した防災マップ体験システムを構築するとともに、触覚技術を用いて水を歩いている感覚を体験するデバイスを試作した。
- ・人とロボットが共存する社会を目指し、人の流れや動きを考慮して最適な経路選択を行う自律移動ロボットを試作した。



2 慶應義塾大学・東京大学・早稲田大学（日南町）

慶應義塾大学、東京大学、早稲田大学の学生が令和7年8月7日から8日の2日間、日南町で中山間地域のモデルを創るまちづくりの実践を目指し、森林・環境・SDGsをテーマに、交流・体験・共創を通じて持続可能な未来を考える合宿を開催した。（学生13名が参加）

<活動内容>

- ・林業アカデミー演習林での森林学習・伐倒体験
- ・県内中高生と大学混合によるまちづくりワークショップ



3 青山学院大学（鳥取市青谷町・鹿野町）

青山学院大学の3つのゼミが令和7年8月から9月の間、鳥取市鹿野町を中心に、鳥の劇場やおおや和紙工房などの地域組織へのヒアリングと、鹿野学園の児童・生徒に対する参加体験型授業を行った。（学生18名が参加）

<活動内容>

- ・因州和紙や鹿皮の対称性や立体構造など数学教材としての可能性調査と数理ワークショップの実施
- ・資源ごみの有効活用や付加価値の創出をテーマに、古布を再利用したモザイクアートの作成
- ・プログラミングへの興味を高めるためのプログラミングワークショップの開催



4 大阪学院大学（日南町）

大阪学院大学の学生が令和7年9月24日から26日の3日間、日南町で森林・環境・SDGsをテーマに、次世代の担い手育成と地域の魅力再発見を目的とした合宿を開催した。（学生20名が参加）

<活動内容>

- ・役場訪問によるまちづくり学習
- ・林業アカデミー演習林での森林学習・伐倒体験を通した地域課題のワークセッション



とっとり県民の日（９月１２日）における各種取組の実施について

令和7年10月6日
協働参画課

9月12日の「とっとり県民の日」に合わせて、県民が鳥取県について学び、ふるさとに愛着と誇りを持っていただくため、民間事業者・教育機関等と連携して実施した各種取組の概要を報告します。

1 イオンモール鳥取北・イオン米子駅前での啓発イベント

とっとり県民の日の啓発を行うとともに、県の魅力を知り、地域社会の持続可能性や環境について学ぶ展示やワークショップ等を実施した。

会場	期日	内容
米子駅前	8月30日(土)	・とっとり県民の日パネル展（鳥取県の歴史や魅力等） ・とっとり県民の日・SDGsを学ぶクイズラリー
鳥取北	9月13日(土)	・とっとりSDGs伝道師によるワークショップ ・とっとりSDGs子ども伝道師（鳥取市立桜ヶ丘中学生）による実践活動紹介・地域課題解決策のポスターセッション（鳥取北のみ）等
	9月12日(金) ～15日(月・祝)	とっとり県民の日フェア（県内の特産品及び民芸品の販売）



＜とっとり県民の日フェア＞



＜パネル展＞



＜中学生による実践活動発表＞

2 県内スーパーマーケットと連携した「とっとり県民の日フェア」の開催

- ・協力事業者：12社 80店舗（イオン、エスマート、サンマート、JA 鳥取中部直売所、新あじそう、スーパーマルワ、天満屋ハピーズ郡家店、東宝ストア、フーズマーケットホック、マックスバリュ、マルイ、まるごう）
- ・実施内容：知事メッセージによる県民の日フェア開催案内をチラシに掲載、県産品の販売促進、県民の日のぼり掲出等（9月12日前後に実施） ※具体的な実施内容は、店舗により異なります。

3 県立公文書館での企画展「鳥取県ができるまで」

- ・期日 9月9日(火)～9月30日(火)
- ・内容 鳥取県の誕生（藩から県へ）から島根県に合併、鳥取県の再置に至る歴史を振り返る企画展
今年度は、政府による再置決定から実際の「土地・人民の引渡」までの動きを、明治初期の公文書（初公開資料含む）を通じて解説

4 県立図書館での特別資料展「戦後80年 県民の継承のいとなみー戦争体験の想起とこれからの伝承ー」

- ・期日 8月13日(水)～9月23日(火)
- ・内容 新聞資料や体験談等の文集・記録をはじめとした地域資料等から県民の体験者の記憶をたどり、戦争の記憶とこれからの伝承活動のヒントとなる取組を紹介

5 県内学校等と連携した取組

(1) 学校での「とっとり県民の日」一斉取組の実施

小中高校・義務教育学校・特別支援学校の児童生徒が、ふるさと鳥取県について考える機会を設けた。
(県民の日リーフレット配布の他、小冊子「鳥取県ができるまで」を小学6年生に配布)

＜取組(例)＞

県民の日リーフレット等を活用し、ホームルーム等の時間を利用して鳥取県誕生の経緯や県民の日の趣旨説明、鳥取県クイズなどが行われた。

(2) 学校給食での「とっとり県民の日」地産地消メニューの提供

学校給食を提供する県内の小中学校、義務教育学校、特別支援学校において、9月12日に、県特産の二十世紀梨や星空舞、鳥取牛などの地域色を生かした地産地消メニューを提供した。

＜取組(例)＞

鳥取市内小中学校で提供された学校給食：鳥取牛のしぐれ煮、酒ノ津わかめと豆腐竹輪の和え物、梨シャーベットなど

(3) ふるさと「とっとり」講師の派遣

児童・県民等に鳥取県の歴史や地域の魅力を伝え、ふるさとへの理解を高めるため、専門的な知識を有する講師を学校等に派遣した。(令和7年9月末までの実施回数：計21回)

＜取組(例)＞

期日	場所	講師	内容
9月9日(火)	県立まなびの森学園	奥村 一成氏	ふるさと「とっとり」の歴史を知り、 「とっとり」の魅力を考える

6 県内施設の無料開放等 ※一部エリアの無料開放も含みます。

計24施設(県立14、市町村立10)

アイエム電子鳥取砂丘こどもの国、鳥取産業体育館、鳥取屋内プール、博物館、ヤマタスポーツパーク、エースパックなしっこ館、倉吉体育文化会館、美術館、東山水泳場、武道館、米子産業体育館、みなとさかい交流館、東郷湖羽合臨海公園(中国庭園燕趙園を除く)、とっとり花回廊、鳥取市歴史博物館(やまびこ館)、鳥取市河原町お城山展望台、鳥取市流しびなの館、因幡万葉歴史館、鳥取市武道館、鳥取市弓道場、鳥取市千代テニス場、鳥取市城北テニス場、童謡館・鳥取世界おもちゃ館(わらべ館)、米子市皆生市民プール

7 県政広報媒体での情報発信

県政だより(9月号)、日本海新聞広告(9月7日：全5段)、県公式SNSで広く県民に広報を行った。

《参考1：「とっとり県民の日」》

明治14年に現在の鳥取県が誕生した日にちなみ、平成10年に9月12日を条例で「とっとり県民の日」として制定。

「とっとり県民の日」は、「県民が、ふるさとについての理解と関心を深めるとともに、ふるさとを愛する心を育て、もって自信と誇りの持てる鳥取県を力を合わせて築きあげることを期する日」であり、関連イベントの実施、施設の無料開放と入場料割引、学校での県民の日給食などを行っている。

《参考2：鳥取県の歴史》

- ・明治4年(1871年)7月14日 廃藩置県により鳥取藩が鳥取県になった。
- ・明治9年(1876年)8月21日 鳥取県が廃止されて島根県に合併された。
- ・明治14年(1881年)9月12日 鳥取県再置運動が実を結び、再び鳥取県が設置された。